

# 学校評価

## 令和4年度 宇陀市立榛原西小学校 学校自己評価書（教育活動） 「重点目標」「評価のための指標」

| 教育目標                | 人権尊重の精神を基盤として、自ら学び、豊かな生活を創る、心身ともにたくましい子の育成   |  |   |   |   |  |  |
|---------------------|--|--|---|---|---|--|--|
| 運営方針                | 日本国憲法、教育基本法、学校教育法に示された教育の理念と果及び市教育委員会の教育方針等をふまえ、教育公務員としての自覚に立ち、学校教、教育愛を基盤とした教育を推進し、創意に満ちた明るく生き生きとした校風づくりに努める。  |  |   | 本年度重点目標   | ・子どもたちの良さ感情をはぐくみ、笑顔あふれる学校づくり<br>・「わかる」「考える」「やる気」授業づくり<br>・家庭・地域とともにある学校   |  |  |
| 前年度の成果と課題           | 西小4つの特長を設定し規範意識や思いやりの心を育てたり、地域との結びつきを大切にしている連携し、取り組むことができた。生き生きとした心で日々子どもたちと向き合っており、学校が子どもたちが生き生きと過ごせる場になる。ICTなどの教育手法も取り入れながら教職員の仕事改善と主体的な学びにつながる授業改善を進める。 |  |   |   |   |  |  |
| 大項目                 | 中項目  | 小項目  | 具体的評価項目・指標  | 取組と成果   | 評価  | 評価の観点・理由   | 課題・改善方針  |
| I<br>教育活動<br>に関するもの | (1) 教育目標<br>教育課程<br>学校評価   | ① 教育目標の設定  | 児童の実態や家庭、地域の願いとつながる、具体的目標を設定する。   | ・地域や保護者が願う児童像をつかみ、目指す児童像を明確にして学校の教育目標を設定している。<br>・地域の特色や歴史や文化、人に伝い子どもが学べるような教育計画を立案している。<br>・教育目標を具体化した教育計画を発達保障に際して作成し、各学年の学習の中で工夫して進めることができている。<br>・それぞれの教育活動について、振り返りを行い次年度の改善につなげている。   | A   | ・「特色ある学校づくり」をキーワードにそれぞれの先生が自分のできることを考える機会もたくさんあり、実践に向けている。<br>・全校朝会や通信等で教育目標に関する啓発ができていた。<br>・地域の方々と繋がりを持ちながら、教育活動を進めることができた。<br>・教員で振り返りを行うことで、次年度の改善点を共有できた。   | ・校長講話や学校通信「様式小だまり」などで、繰り返し様々な角度から教育活動やその目的などを真摯に伝えていきたい。そのためには教育目標と目指す児童像を教職員も具体化や共有化を図っていくことで、目標に近づくことができる。<br>・総括と学校評価を一体化し、PACDサイクルを職員全体で意識して進めることで、改善点が焦点化されることともに、年度初めの流れが円滑に進む。  |
|                     |  | ② 教育計画の作成  | 前年度の振り返りを生かし、教育目標実現につながる地域に根ざした「特色ある学校づくり」に向けた計画を作成する。  | ・タブレットを活用することで、具体物を使わずに図や絵を活用して思考することができた。<br>・思考が止まってしまう児童にとっては、友達や考えをタブレットで共有できることで思考の助けになった。<br>・タブレットで問題解決学習や観察、運動の様子などを記録することで、振り返りに活用する力やそれらの資料をもとにして話し合い資料を向上した。<br>・ペアやグループ学習の中で自分の考えを整理することで、全体の場で自分の考えをまとめて表現する力が向上した。  | A   |  |  |
|                     |  | ③ 教育課程の編成  | 学習指導要領に基づき、めざす児童像を明確にした上で、児童や家庭、地域の実態に応じた教育課程を編成する。   | ・タブレットを活用することで、具体物を使わずに図や絵を活用して思考することができた。<br>・思考が止まってしまう児童にとっては、友達や考えをタブレットで共有できることで思考の助けになった。<br>・タブレットで問題解決学習や観察、運動の様子などを記録することで、振り返りに活用する力やそれらの資料をもとにして話し合い資料を向上した。<br>・ペアやグループ学習の中で自分の考えを整理することで、全体の場で自分の考えをまとめて表現する力が向上した。  | A   |  |  |
|                     |  | ④ 教育活動の評価  | 計画、実行、評価、改善が一連の流れとして取り組まれ、次年度の計画に生かされている。   | ・タブレットを活用することで、具体物を使わずに図や絵を活用して思考することができた。<br>・思考が止まってしまう児童にとっては、友達や考えをタブレットで共有できることで思考の助けになった。<br>・タブレットで問題解決学習や観察、運動の様子などを記録することで、振り返りに活用する力やそれらの資料をもとにして話し合い資料を向上した。<br>・ペアやグループ学習の中で自分の考えを整理することで、全体の場で自分の考えをまとめて表現する力が向上した。  | A   |  |  |
|                     | (2) 学習指導<br>【教科・道徳科・<br>外国語活動・<br>総合】  | ① 学習指導計画の立案  | 各学年の児童の実態に応じた学習指導計画を立案する。   | ・タブレットを活用することで、具体物を使わずに図や絵を活用して思考することができた。<br>・思考が止まってしまう児童にとっては、友達や考えをタブレットで共有できることで思考の助けになった。<br>・タブレットで問題解決学習や観察、運動の様子などを記録することで、振り返りに活用する力やそれらの資料をもとにして話し合い資料を向上した。<br>・ペアやグループ学習の中で自分の考えを整理することで、全体の場で自分の考えをまとめて表現する力が向上した。  | A   | ・ICTを活用して意見交換したり表現したりすることで、児童より多様な考え方に触れることができ、深い学びに繋がっていた。<br>・タブレットの有効活用の研修が進んだ。<br>・ICTの活用による表現する機会が増えた。<br>・タブレットを効果的に使い、児童の主体的な学びに生かすことができた。  | ・何事にも受け身で発想力・行動力が弱い児童が多数見られる実態から、学習内容や日常の問かけの中で、「主体的で深い学び」をどれだけ意識してできているかを再確認していく必要がある。<br>・ペアやグループ学習の中でじっくりと思考、自己表現ができる場を多く設定し、豊かな発想を促進しそれを認め合える教材・学校づくりをめざす。<br>・意見交換や表現活動での更なるICT活用の推進と共に、ICT教材を自分で選択できる力や、情報の精選、ICT使用の規律の徹底など、情報に親しみながら自分の学習に繋げていく指導をしていかなければならない。 |
|                     |  | ② 学習内容の精選  | 自分の考えを言葉や絵で表し、「考える」【伝える】活動を大切に学習内容を精選する。  | ・タブレットを活用することで、具体物を使わずに図や絵を活用して思考することができた。<br>・思考が止まってしまう児童にとっては、友達や考えをタブレットで共有できることで思考の助けになった。<br>・タブレットで問題解決学習や観察、運動の様子などを記録することで、振り返りに活用する力やそれらの資料をもとにして話し合い資料を向上した。<br>・ペアやグループ学習の中で自分の考えを整理することで、全体の場で自分の考えをまとめて表現する力が向上した。  | A   |  |  |
|                     |  | ③ 指導方法の工夫改善  | ICTや具体物を活用し、教材や考えの「見える化」をする。  | ・タブレットを活用することで、具体物を使わずに図や絵を活用して思考することができた。<br>・思考が止まってしまう児童にとっては、友達や考えをタブレットで共有できることで思考の助けになった。<br>・タブレットで問題解決学習や観察、運動の様子などを記録することで、振り返りに活用する力やそれらの資料をもとにして話し合い資料を向上した。<br>・ペアやグループ学習の中で自分の考えを整理することで、全体の場で自分の考えをまとめて表現する力が向上した。  | A   |  |  |
|                     |  | ④ 評価   | 多様な考えを交流できる場の設定をする。すべての教科で主体的・対話的で深い学びをめざし、判断力や思考力、表現力を評価する。  | ・タブレットを活用することで、具体物を使わずに図や絵を活用して思考することができた。<br>・思考が止まってしまう児童にとっては、友達や考えをタブレットで共有できることで思考の助けになった。<br>・タブレットで問題解決学習や観察、運動の様子などを記録することで、振り返りに活用する力やそれらの資料をもとにして話し合い資料を向上した。<br>・ペアやグループ学習の中で自分の考えを整理することで、全体の場で自分の考えをまとめて表現する力が向上した。  | B   |  |  |
|                     |  | ⑤ 指導計画の立案  | コロナ禍における特別活動の意味、行事の在り方を考え立案する。  | ・子どもたちの学校生活を彩るという特別活動の目的を踏まえ、十分にコロナ対策を練りながら実施することができた。<br>・各学年において、子どもの実態に合わせて取り組んできた。<br>・学級ごと計画・準備を取り組む。<br>・これまでの学校行事の目的とコロナ対策を考慮し、可能な範囲で取り組む。子どもたちの成長につなげた。<br>・委員会では、人数の減少に伴い、出来る範囲で取り組んだ。<br>・コロナ禍で代表委員会実施できなかったが、各委員会で児童が主体的に様々な取組を行うことができた。<br>・各クラブにおいて年間計画を練り立てることで、子どもたちが楽しめる、有意義な時間として取り組むことができた。 | A   |  |  |
|                     | ② 学級活動・学級経営  | 自分たちの学級生活において、課題を確認し、改善策を話し合う中で解決方法を見出していく力をつけさせる。             | ・子どもたちの学校生活を彩るという特別活動の目的を踏まえ、十分にコロナ対策を練りながら実施することができた。<br>・各学年において、子どもの実態に合わせて取り組んできた。<br>・学級ごと計画・準備を取り組む。<br>・これまでの学校行事の目的とコロナ対策を考慮し、可能な範囲で取り組む。子どもたちの成長につなげた。<br>・委員会では、人数の減少に伴い、出来る範囲で取り組んだ。<br>・コロナ禍で代表委員会実施できなかったが、各委員会で児童が主体的に様々な取組を行うことができた。<br>・各クラブにおいて年間計画を練り立てることで、子どもたちが楽しめる、有意義な時間として取り組むことができた。 | A   |   |  |  |
|                     | ③ 学校行事   | コロナ禍において、行事を精選する。できる方法を考えるなどして、その目的達成に向けて取り組んでいる。              | ・子どもたちの学校生活を彩るという特別活動の目的を踏まえ、十分にコロナ対策を練りながら実施することができた。<br>・各学年において、子どもの実態に合わせて取り組んできた。<br>・学級ごと計画・準備を取り組む。<br>・これまでの学校行事の目的とコロナ対策を考慮し、可能な範囲で取り組む。子どもたちの成長につなげた。<br>・委員会では、人数の減少に伴い、出来る範囲で取り組んだ。<br>・コロナ禍で代表委員会実施できなかったが、各委員会で児童が主体的に様々な取組を行うことができた。<br>・各クラブにおいて年間計画を練り立てることで、子どもたちが楽しめる、有意義な時間として取り組むことができた。 | A   |   |  |  |
|                     | ④ 児童・生徒会活動の活性化   | 児童数が減る中で、いかに2回助の委員会を運営するか検討する。子どもたちが主体的に年2回の代表委員会に取り組む。        | ・子どもたちの学校生活を彩るという特別活動の目的を踏まえ、十分にコロナ対策を練りながら実施することができた。<br>・各学年において、子どもの実態に合わせて取り組んできた。<br>・学級ごと計画・準備を取り組む。<br>・これまでの学校行事の目的とコロナ対策を考慮し、可能な範囲で取り組む。子どもたちの成長につなげた。<br>・委員会では、人数の減少に伴い、出来る範囲で取り組んだ。<br>・コロナ禍で代表委員会実施できなかったが、各委員会で児童が主体的に様々な取組を行うことができた。<br>・各クラブにおいて年間計画を練り立てることで、子どもたちが楽しめる、有意義な時間として取り組むことができた。 | B   |   |  |  |
|                     | ⑤ クラブ・部活動の活性化  | 回数が増える中で、内容を精選し、効率よく取り組んでいる。                                   | ・子どもたちの学校生活を彩るという特別活動の目的を踏まえ、十分にコロナ対策を練りながら実施することができた。<br>・各学年において、子どもの実態に合わせて取り組んできた。<br>・学級ごと計画・準備を取り組む。<br>・これまでの学校行事の目的とコロナ対策を考慮し、可能な範囲で取り組む。子どもたちの成長につなげた。<br>・委員会では、人数の減少に伴い、出来る範囲で取り組んだ。<br>・コロナ禍で代表委員会実施できなかったが、各委員会で児童が主体的に様々な取組を行うことができた。<br>・各クラブにおいて年間計画を練り立てることで、子どもたちが楽しめる、有意義な時間として取り組むことができた。 | A   |   |  |  |
|                     | (4) 人権教育   | ① 人権教育指導計画の立案  | 学校教育目標実現につながる具体的な計画を作成する。   | 人権を確かめあう日を中心に、様々な人権課題に応じた学習を計画する。また、系統的な学習が行えるよう学習内容をアレンジしていく。教養をはじめの通信や確かめあう日の原稿等で共通課題を設けた。  | A   | ・毎月の「人権を確かめあう日」の取組は、全校回リテーマで児童が様々な人権課題に触れ、自分を見つめる機会になっていた。<br>・みんもの広場の運営を児童が主体となり進めることができた。<br>・今までに取り組んだ教材等をアレンジしたものがあり、指導者も活用し、各学年の実態に合わせて取り組んできた。<br>・通信で他学年の取組を知ることができ、指導の幅を広げることができた。<br>・従来の方法に固執することなく、より良い取組になるよう教育活動を進められた。 | ・人権部の教師が暗黙で人権を確かめあう日の原稿を考えることで、さまざまな課題に触れ、自分を見つめる機会になっていた。来年度も目標に向けていく。<br>・今後とも人権を確かめあう日をはじめ、人権課題にあった教材を準備していき、各学年の実態に合わせて取り組んでいく必要がある。<br>・価値観の押しつけにならないよう、教員自身が現在の人権問題に関心を持ち、情報を更新していく必要があると思う。今年度同様、研修や通信等で多様な指導法を発信していかけていく。                                      |
|                     |  | ② 学習内容の精選  | 人権課題に合った教材を選定する。フィルを元に許年度の取組を確認するなどして、教材を選択することができた。  | 人権を確かめあう日を中心に、様々な人権課題に応じた学習を計画する。また、系統的な学習が行えるよう学習内容をアレンジしていく。教養をはじめの通信や確かめあう日の原稿等で共通課題を設けた。  | A   |  |  |
|                     |  | ③ 指導方法の工夫改善  | 価値観の押しつけにならないように、子どもの体験にもとづく多様な考えを引き出し共有する。   | 人権を確かめあう日を中心に、様々な人権課題に応じた学習を計画する。また、系統的な学習が行えるよう学習内容をアレンジしていく。教養をはじめの通信や確かめあう日の原稿等で共通課題を設けた。  | A   |  |  |
|                     |  | ④ 組織的な特別支援教育   | 校内委員会やケース会議などの推進の充実を図る。   | ・気になる児童について話し合いをもち、実態の交流や今後の取り組みについて話し合いができた。<br>・学期ごとに振り返り、児童の実態に合う指導計画を立てることができた。<br>・支援計画作成時に児童や保護者の話をじっくり聞き、計画に生かすことができた。<br>・児童の実態に合う教材や指導法を模索したり話し合ったことにより、実践に生かすことができた。  | B   |  |  |
|                     |  | ⑤ 個別の指導計画の策定   | 児童の実態に即した指導計画を立てる。  | ・気になる児童について話し合いをもち、実態の交流や今後の取り組みについて話し合いができた。<br>・学期ごとに振り返り、児童の実態に合う指導計画を立てることができた。<br>・支援計画作成時に児童や保護者の話をじっくり聞き、計画に生かすことができた。<br>・児童の実態に合う教材や指導法を模索したり話し合ったことにより、実践に生かすことができた。  | A   |  |  |
|                     |  | ⑥ 個別の教育支援計画の策定   | 保護者・児童の願いや思いを聞きとり、先を見越した支援計画を立てる。   | ・気になる児童について話し合いをもち、実態の交流や今後の取り組みについて話し合いができた。<br>・学期ごとに振り返り、児童の実態に合う指導計画を立てることができた。<br>・支援計画作成時に児童や保護者の話をじっくり聞き、計画に生かすことができた。<br>・児童の実態に合う教材や指導法を模索したり話し合ったことにより、実践に生かすことができた。  | A   |  |  |
|                     |  | ⑦ 指導方法の工夫改善  | 児童の実態に合わせて、スキームやステップを組み合わせながら学ぶような指導方法や教材を工夫する。   | ・気になる児童について話し合いをもち、実態の交流や今後の取り組みについて話し合いができた。<br>・学期ごとに振り返り、児童の実態に合う指導計画を立てることができた。<br>・支援計画作成時に児童や保護者の話をじっくり聞き、計画に生かすことができた。<br>・児童の実態に合う教材や指導法を模索したり話し合ったことにより、実践に生かすことができた。  | A   |  |  |
| ⑧ 家庭との連携            |  | 連絡帳や相談会などで、細やかに児童の様子を伝えるようにする。                                 | ・気になる児童について話し合いをもち、実態の交流や今後の取り組みについて話し合いができた。<br>・学期ごとに振り返り、児童の実態に合う指導計画を立てることができた。<br>・支援計画作成時に児童や保護者の話をじっくり聞き、計画に生かすことができた。<br>・児童の実態に合う教材や指導法を模索したり話し合ったことにより、実践に生かすことができた。  | A   |   |  |  |
| ⑨ 関係機関との連携          |  | 児童の実態をスクールカウンセラーやアドバイザーの先生に児童の様子をしっかりと伝え、アドバイスを指導に生かせるようにする。   | ・気になる児童について話し合いをもち、実態の交流や今後の取り組みについて話し合いができた。<br>・学期ごとに振り返り、児童の実態に合う指導計画を立てることができた。<br>・支援計画作成時に児童や保護者の話をじっくり聞き、計画に生かすことができた。<br>・児童の実態に合う教材や指導法を模索したり話し合ったことにより、実践に生かすことができた。  | A   |   |  |  |
| ⑩ 組織的な生徒指導          |  | 児童の規範意識の育成を図る。学期に1回以上生徒指導部会を開き、児童の様子を交流し、職期や職員会議などで共通理解を徹底させる。 | ・気になる児童について話し合いをもち、実態の交流や今後の取り組みについて話し合いができた。<br>・学期ごとに振り返り、児童の実態に合う指導計画を立てることができた。<br>・支援計画作成時に児童や保護者の話をじっくり聞き、計画に生かすことができた。<br>・児童の実態に合う教材や指導法を模索したり話し合ったことにより、実践に生かすことができた。  | B   |   |  |  |
| (6) 生徒指導            | ① 問題行動の指導  | 担任だけでなく、全教職員全体で指導にあたる。児童の様子を見ながら、環境を整えたりして、問題行動が起こる前の取組に力を注ぐ。  | ・1・2学期に特別職員全体で共通理解・取り組みをしなければならぬことと共有することや、担任が気づいた際には全教職員で共有し、状況を把握して対応できた。<br>・S・Cや他の教育相談員に授業を参観してもらっている。会議等は子どもたちのことを考えている。場合によっては、保護者会を開催し、学校として検討し取組に生かしている。<br>・家庭訪問や電話、学習指導等で子どもがけり伝える。児童の様子や様子など、子どもが参観には、保護者に伝えることにも協力しながら取り組んでいる。  | A   | ・生活アンケートを実施し、課題を全職員で共有し、組織的に指導することができた。<br>・会議等で何か提案するときは、部会が集まったり、文書を読みながら共有することで部会でも協力して取り組んできた。<br>・職員会議で問題解決の時間を設けているので、全校児童の実態や様子がよく分り、課題や改善点を共有できた。<br>・S・Cとの連携がしっかりとれているので、安心して児童の指導にあてられた。<br>・西小4つの特長の推進に向けて取り組んでいるが、不十分取組になっていると感じる。定期的な取組については、子どもたちの生活の変化や多文化共生、保護者の意識、宇陀の寒さなどの地域性もあり、思考停止しないように注意していきたい。 |  |  |
|                     | ② 家庭との連携   | 児童の実態をつかみ、密に家庭と連携するように教職員で共通理解する。場合によっては、保護者と話し合った内容を実施してもらう。  | ・1・2学期に特別職員全体で共通理解・取り組みをしなければならぬことと共有することや、担任が気づいた際には全教職員で共有し、状況を把握して対応できた。<br>・S・Cや他の教育相談員に授業を参観してもらっている。会議等は子どもたちのことを考えている。場合によっては、保護者会を開催し、学校として検討し取組に生かしている。<br>・家庭訪問や電話、学習指導等で子どもがけり伝える。児童の様子や様子など、子どもが参観には、保護者に伝えることにも協力しながら取り組んでいる。  | A   |   |  |  |
|                     | ③ 関係機関との連携   | スクールカウンセラーと連携し、指導にあたる。不登校等の課題については、市の関係機関と協力して、その子の居場所を探る。     | ・1・2学期に特別職員全体で共通理解・取り組みをしなければならぬことと共有することや、担任が気づいた際には全教職員で共有し、状況を把握して対応できた。<br>・S・Cや他の教育相談員に授業を参観してもらっている。会議等は子どもたちのことを考えている。場合によっては、保護者会を開催し、学校として検討し取組に生かしている。<br>・家庭訪問や電話、学習指導等で子どもがけり伝える。児童の様子や様子など、子どもが参観には、保護者に伝えることにも協力しながら取り組んでいる。  | A   |   |  |  |
|                     | ④ 組織的な進路指導   | 学校全体でキャリア教育に対する共通理解を図る。  | ・1・2学期に特別職員全体で共通理解・取り組みをしなければならぬことと共有することや、担任が気づいた際には全教職員で共有し、状況を把握して対応できた。<br>・S・Cや他の教育相談員に授業を参観してもらっている。会議等は子どもたちのことを考えている。場合によっては、保護者会を開催し、学校として検討し取組に生かしている。<br>・家庭訪問や電話、学習指導等で子どもがけり伝える。児童の様子や様子など、子どもが参観には、保護者に伝えることにも協力しながら取り組んでいる。  | B   |   |  |  |
|                     | ⑤ 数学科・職業科に関する指導  | 身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上を図る。                                       | ・1・2学期に特別職員全体で共通理解・取り組みをしなければならぬことと共有することや、担任が気づいた際には全教職員で共有し、状況を把握して対応できた。<br>・S・Cや他の教育相談員に授業を参観してもらっている。会議等は子どもたちのことを考えている。場合によっては、保護者会を開催し、学校として検討し取組に生かしている。<br>・家庭訪問や電話、学習指導等で子どもがけり伝える。児童の様子や様子など、子どもが参観には、保護者に伝えることにも協力しながら取り組んでいる。  | B   |   |  |  |
| (7) 進路指導<br>キャリア教育  | ① 指導方法の工夫改善  | 自尊感情を高め、他者との関係を探るとともに集団の中で自己を生かすことができるよう指導を工夫する。               | ・1・2学期に特別職員全体で共通理解・取り組みをしなければならぬことと共有することや、担任が気づいた際には全教職員で共有し、状況を把握して対応できた。<br>・S・Cや他の教育相談員に授業を参観してもらっている。会議等は子どもたちのことを考えている。場合によっては、保護者会を開催し、学校として検討し取組に生かしている。<br>・家庭訪問や電話、学習指導等で子どもがけり伝える。児童の様子や様子など、子どもが参観には、保護者に伝えることにも協力しながら取り組んでいる。  | A   | ・各学年で、地域で働く人から知識、体験の学びを得て、仕事・労働への関心を高めることができた。<br>・キャリア教育については、本校の児童の実態として「自尊感情を高める」という課題に向き合いながら取組を進めることができた。<br>・道徳や総合学習の時間に、自己理解や他者理解についての取組ができた。  | ・コロナの感染状況をふまえて、積極的に社会見学を行っていく。<br>・教科や発達段階に合わせて、地域の仕事や職業についての学習を行っていく。<br>・長期休業前や状況に合わせて、生指導員より休み中の過ごし方について話し、各担任から「夏休みのくらし・冬休みのくらし」を活用して、決まりを守るようにする。   |  |
|                     | ② 家庭との連携   | 衣食住や生活に関心をもち、家庭への所属感を高め、家庭で自分ができる仕事を果たせるように促す。                 | ・1・2学期に特別職員全体で共通理解・取り組みをしなければならぬことと共有することや、担任が気づいた際には全教職員で共有し、状況を把握して対応できた。<br>・S・Cや他の教育相談員に授業を参観してもらっている。会議等は子どもたちのことを考えている。場合によっては、保護者会を開催し、学校として検討し取組に生かしている。<br>・家庭訪問や電話、学習指導等で子どもがけり伝える。児童の様子や様子など、子どもが参観には、保護者に伝えることにも協力しながら取り組んでいる。  | A   |   |  |  |
|                     | ③ 関係機関との連携   | 地域教材の使用や、地域の方の仕事に触れる機会を通して、具体的な事例からのキャリア教育を進める。                | ・1・2学期に特別職員全体で共通理解・取り組みをしなければならぬことと共有することや、担任が気づいた際には全教職員で共有し、状況を把握して対応できた。<br>・S・Cや他の教育相談員に授業を参観してもらっている。会議等は子どもたちのことを考えている。場合によっては、保護者会を開催し、学校として検討し取組に生かしている。<br>・家庭訪問や電話、学習指導等で子どもがけり伝える。児童の様子や様子など、子どもが参観には、保護者に伝えることにも協力しながら取り組んでいる。  | A   |   |  |  |
| (8) 食育              | ① 食育の全体計画の立案   | 楽しい食生活と食習慣を身に付け、健康管理を自らできるよう、計画を立案する。                          | ・1・2学期に特別職員全体で共通理解・取り組みをしなければならぬことと共有することや、担任が気づいた際には全教職員で共有し、状況を把握して対応できた。<br>・S・Cや他の教育相談員に授業を参観してもらっている。会議等は子どもたちのことを考えている。場合によっては、保護者会を開催し、学校として検討し取組に生かしている。<br>・家庭訪問や電話、学習指導等で子どもがけり伝える。児童の様子や様子など、子どもが参観には、保護者に伝えることにも協力しながら取り組んでいる。  | A   | ・地域教材を用いて地産物について、児童の関心を高めることができた。<br>・給食委員の放送やなまよし献立のDVD、給食日より等で食の関心を高めることができた。<br>・給食を、徹底できないことがあった。<br>・給食センターの方が担当が工夫して取り組まれている内容を、学校で十分に子どもたちと学ぶ時間がとれていない部分がある。   | ・地域教材を用いた食育指導を継続し、食への興味・関心をより高める。<br>・給食委員の放送やなまよし献立のDVD、給食日より等で食の関心を高めることができた。<br>・給食を、徹底できないことがあった。<br>・給食センターの方が担当が工夫して取り組まれている内容を、学校で十分に子どもたちと学ぶ時間がとれていない部分がある。  |  |
|                     | ② 学習内容の精選  | 地域で作られた物に関心をもち、生産者・調理者への感謝の気持ちを忘れず食べ物や食を大切にできるように、学習内容を精選する。   | ・1・2学期に特別職員全体で共通理解・取り組みをしなければならぬことと共有することや、担任が気づいた際には全教職員で共有し、状況を把握して対応できた。<br>・S・Cや他の教育相談員に授業を参観してもらっている。会議等は子どもたちのことを考えている。場合によっては、保護者会を開催し、学校として検討し取組に生かしている。<br>・家庭訪問や電話、学習指導等で子どもがけり伝える。児童の様子や様子など、子どもが参観には、保護者に伝えることにも協力しながら取り組んでいる。  | A   |   |  |  |
|                     | ③ 指導方法の工夫改善  | 楽しく食事ができるように、学校の実態に応じて、給食当番の方法や食事マナーなどを工夫する。                   | ・1・2学期に特別職員全体で共通理解・取り組みをしなければならぬことと共有することや、担任が気づいた際には全教職員で共有し、状況を把握して対応できた。<br>・S・Cや他の教育相談員に授業を参観してもらっている。会議等は子どもたちのことを考えている。場合によっては、保護者会を開催し、学校として検討し取組に生かしている。<br>・家庭訪問や電話、学習指導等で子どもがけり伝える。児童の様子や様子など、子どもが参観には、保護者に伝えることにも協力しながら取り組んでいる。  | B   |   |  |  |
|                     | ④ 食育の全体計画の立案   | 楽しい食生活と食習慣を身に付け、健康管理を自らできるよう、計画を立案する。                          | ・1・2学期に特別職員全体で共通理解・取り組みをしなければならぬことと共有することや、担任が気づいた際には全教職員で共有し、状況を把握して対応できた。<br>・S・Cや他の教育相談員に授業を参観してもらっている。会議等は子どもたちのことを考えている。場合によっては、保護者会を開催し、学校として検討し取組に生かしている。<br>・家庭訪問や電話、学習指導等で子どもがけり伝える。児童の様子や様子など、子どもが参観には、保護者に伝えることにも協力しながら取り組んでいる。  | A   |   |  |  |
|                     | ⑤ 学習内容の精選  | 地域で作られた物に関心をもち、生産者・調理者への感謝の気持ちを忘れず食べ物や食を大切にできるように、学習内容を精選する。   | ・1・2学期に特別職員全体で共通理解・取り組みをしなければならぬことと共有することや、担任が気づいた際には全教職員で共有し、状況を把握して対応できた。<br>・S・Cや他の教育相談員に授業を参観してもらっている。会議等は子どもたちのことを考えている。場合によっては、保護者会を開催し、学校として検討し取組に生かしている。<br>・家庭訪問や電話、学習指導等で子どもがけり伝える。児童の様子や様子など、子どもが参観には、保護者に伝えることにも協力しながら取り組んでいる。  | A   |   |  |  |

令和4年度 学校自己評価書（学校経営）

学校名【宇陀市立権原西小学校】

| 大項目 | 中項目           | 小項目                 | 具体的評価項目・指標   | 取組と成果   | 評価 | 評価の観点・理由  | 課題・改善方策   |
|-----|---------------|---------------------|--|---|----|---|---|
| I   | (1)組織運営       | ① 校長のリーダーシップ        | 校長は、自らの教育理念や学校運営についての考えを明らかにしている。                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育目標に沿った学校運営に関する考えを示し、全職員と共有した。また、保護者・関係者や地域に向けて学校よりなどの機会を使い本校の教育の考えや思いを伝えている。</li> <li>・校務分掌では、それぞれの担当が主体的に業務を進め、先生方との連携をとりながら円滑に進めてくれた。</li> <li>・職員会議の後に、児童に関する情報交換の時間を取り、必要な事については検討や助言等がなされ、学校職員全体で共有できている。</li> <li>・全教職員が、自身の勤務について各自が振り返る機会をもち、ワークライフバランスについて意識しながら業務改善に努めている。</li> </ul>   | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小さなことでも、情報交換しやすい雰囲気があり、全職員で子どもの理解に努めることができた。</li> <li>・休みとされている日でも、後のことを考えると出勤せざるを得ない状況の時がある。</li> <li>・業務改善について、仕事が大きく増えたことはないが、何か削減されたこともないと感じる。</li> <li>・学校目標が多岐にわたっているため、1つ1つを徹底することが難しい。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の学級経営や学校行事などについて、率先して管理職が把握するように努めた。また、教職員がお互いの教育活動を知る機会がもてるように意識し、声を掛け合う職場作りを努める。</li> <li>・社会的要請に応じて、学校目標が多岐にわたること、また学校で用意できた子ども達の教育課題が、校内だけの関係性にとどまっていけないことなどから、教職員への負担も大きいと感じている。優先順位や校務一つ一つの力を入れるべき点を明確にする作業を通して、業務の効率化を図ると同時に負担の均等化を進める。</li> <li>・主体的な働き方ができることが、生き生きとした自己実現にもつながりやりがいのある仕事として子ども達の教育効果にも良い影響を与えると考える。教職員の働き方改革という視点で業務改善を進める。</li> <li>・ICTを使って会議を精選し、会議の時間を減らす。</li> </ul> |
|     |               | ② 学校経営目標・方針         | 全職員に分かりやすい目標と方針が明確に示されている。                                 |   |    |   |   |
|     |               | ③ 教職員の適正配置と運営への参加意識 | 教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がされ、教職員が意欲的に取り組める環境となっている。        |   |    |   |   |
|     |               | ④ 校務分掌等の連携          | 各分掌や各学年の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。                              |   |    |   |   |
|     |               | ⑤ 会議の運営             | 職員会議をはじめ各部会が、情報交換と課題検討の場として機能している。                         |   |    |   |   |
|     |               | ⑥ 会議の結果             | 会議の結果が教育活動や学校運営に生かされている。                                   |   |    |   |   |
|     |               | ⑦ 職場の人間関係           | 教職員間の相互理解が十分にされ、信頼関係のもとで教育活動を行っている。                        |   |    |   |   |
|     |               | ⑧ 働き方改革             | 業務改善を進め、生き生きと子供に向き合う環境作りをしている。                             |   |    |   |   |
| II  | (2)研究・研修      | ① 研修の組織・計画・実施       | 学年部に分かれた校内研究組織が確立し、計画的に研修が行われている。                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初め計画した研修計画や研究主題について共通理解をして研究をスタートすることができた。</li> <li>・研究主題に関わって講師を招聘し、授業研究の手立てとすることができた。また、年度途中で計画の変更はあったが、部会研を研究授業の直前だけでなく、年間を通して定期的に取ることで、単元計画を立てて研究主題に迫ることができた。</li> </ul>  | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在課題となっているICT教育の推進を研究課題として取り組めた。</li> <li>・各部会で活発な話し合いができた。また、話し合った内容を日々の実践に役立てることができた。</li> <li>・研究授業に向けて、授業方法等を計画的に検討、準備することができた。</li> <li>・ICT（タブレット）の活用について、多くのことを学べた。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して部会研修の計画を立て、教職員同士で情報共有できる環境を作る。</li> <li>・教科担当のファイルをまとめておける場を準備する。また、データでの資料があれば、PC内に保存していくことによって、研修で学んできたことを誰もも見られるような環境作りをおこなう。</li> <li>・研究主題に迫れる手立てとなるような研究通信等の発行を計画的に行っていく。</li> </ul>  |
|     |               | ② 校内研修              | 校内研修が教育実践に役立つような内容になっている。                                  |   |    |   |   |
|     |               | ③ 授業研究              | 教員の間で授業方法について検討する機会を積極的にもっている。                             |   |    |   |   |
|     |               | ④ 研修成果の普及           | 研修会・研究会に参加した成果を他の教職員に伝える機会が設けられている。                        |   |    |   |   |
| III | (3)保健管理       | ① 学校保健計画の立案         | 学校保健目標に沿って、計画し、立案する。                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校保健計画を立案し、年度当初の職員会議で共通理解を図った。保健教育とも関連付けて立案し、毎月のほけんだよりの内容に活かすことができた。</li> <li>・学校保健委員会心の健康について取り上げ、講師の先生からご講演して頂いた。アンガーマネジメントについて、家庭に発信することができた。</li> <li>・毎日の健康観察、校内巡視を徹底した。「健康観察表」を活用して、自身の健康に興味・関心をもち、自己管理能力の育成につなげた。</li> <li>・全学年、感染症対策のため、手洗い、消毒、健康観察、熱発、喚起を徹底し、学校給食の衛生管理に努めることができた。</li> <li>・気になる子どもについて、職員会議やケース会議にて情報交換することができた。SICや通級担任との繋がりが深いことができた。</li> </ul>  | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・気になる児童について、養護、担任等適切な連携ができていた。</li> <li>・学校保健委員会の「アンガーマネジメント」は、保護者の方の子育ての一助になる機会であった。また、自分がとってきた行動や考えを改めて見直す機会となった。</li> <li>・委員会活動で、心の健康についても取り組むことができた。</li> <li>・給食を教師で配膳したり、非接触手指自動消毒器を使用したりして感染対策を行った。</li> <li>・健康観察表の検温については、記入漏れがあっても学校で対応し徹底することができた。</li> <li>・保健室が、児童にとって心の安らぎを取り戻す場所にもなっている。</li> <li>・感染症対策について、その都度全体で検討し臨機応変に対応することができた。しかし、給食等については、児童に声掛けはしているが以前とくらべ徹底できていない部分があった。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども、保護者・地域・教職員の実態に合った学校保健委員会を計画する。</li> <li>・今後も感染症対策について、教職員全体で協議・共通理解を図りながら対応していく。</li> <li>・朝の健康観察を毎日丁寧に、自分の体調を把握することのできる子どもを育てる。</li> <li>・給食時の熱食・手洗いで、ポスターや放送で啓発する。学級でも、給食時の感染症対策について再度確認をし、意識付けを行う。</li> </ul>  |
|     |               | ② 心のケアや健康相談体制の整備    | 保健室来室者と丁寧にに関わり、心の状態を汲み取る。ほけんだよりで、心の健康について発信する。             |   |    |   |   |
|     |               | ③ 健康観察、健康管理能力の育成    | 給食中の清潔な身だしなみや服装・感染症対策を徹底し、衛生管理指導を行う。                       |   |    |   |   |
|     |               | ④ 学校給食の衛生管理         | 給食中の清潔な身だしなみや服装・感染症対策を徹底し、衛生管理指導を行う。                       |   |    |   |   |
|     |               | ⑤ 関係機関との連携          | 日々の教職員間での連携はもちろん、その他関係機関との繋がりが大切にする。                       |   |    |   |   |
| IV  | (4)安全管理       | ① 危機管理体制の整備         | 緊急時対応組織編成や、マニュアルをもとに、迅速な対応ができるようにする。                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時体制、対応について、地震や火事の避難訓練、不審者に対する緊急避難訓練を通して再確認することができた。</li> <li>・地震や火事の避難訓練や、不審者に対する緊急避難訓練を実施し、避難経路や手順等を確認することができた。</li> <li>・避難訓練や、下校指導を通して児童の安全意識を高めることができた。</li> <li>・学期はじめと学期終わりに下校指導を行った。また地域の方には毎月バス停での見守りをしていただいている。</li> <li>・消防署と連携し、救命の基礎やプール指導の留意点について、教員の研修を行った。</li> </ul>  | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆることを想定した訓練を計画し、実施することで、児童、教職員ともに危機意識が向上した。また、詳細な計画となっていたので、的確な訓練を実施できた。</li> <li>・消防署の方と連携してマニュアル等を作り直したことで、緊急時の対応について、再確認することができた。</li> <li>・下校指導や日々の保護者からの意見をもとに、児童が安全に登下校できるように取り組むことができた。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度マニュアルや計画の見直しを行い、緊急時の対応を練りしていく。</li> <li>・引き渡し訓練の反省から、保護者を変えて訓練を行い家庭と連携した取組を検討していく。</li> <li>・警察署と連携し、不審者対応に関する職員の研修の機会を図り、職員の危機意識の向上に努める。</li> <li>・来年度も下校指導を行い、地域・家庭の協力のもと、登下校の安全を図りたい。</li> </ul>  |
|     |               | ② 学校防災計画の立案         | 安全教育計画を作成し、それをもとに避難訓練、引き渡し訓練を実施している。                       |   |    |   |   |
|     |               | ③ 安全指導の工夫改善         | 避難訓練や引き渡し訓練を実施し、児童の安全に対する意識を高めるようにする。                      |   |    |   |   |
|     |               | ④ 家庭との連携            | 家庭と連携を取りながら、登下校時の安全を図っている。                                 |   |    |   |   |
|     |               | ⑤ 関係機関との連携          | 消防署や警察署と連携を図り、指導に生かしている。                                   |   |    |   |   |
| V   | (5)保護者・地域との連携 | ① 学校情報の発信           | 学校だより、HP、学級通信などで教育活動を地域や保護者に伝えている。                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりを毎月発行し、HPにも掲載した。学級通信も学年により差はあるが、多数発行し、クラスの様子を保護者に伝えた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で5月の学習参観は中止となったが、その後の学習参観、運動会等は予定通り実施でき、取り組みを公開することができた。</li> <li>・米作り体験、お話し会の開催、放課後学習支援授業など地域パートナーシップ事業を活用した活動を行った。また、地域から声をかけていただき、児童の作品を地域のイベントに出品した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で、総会が書面審議となり、美化奉仕作業が中止になったりしたが、PTA本部役員会を月1回実施し、PTAと連携した活動を行った。</li> <li>・幼保小連携の担当教員を決め、連絡を取り合い、児童と園児の交流する場を設けた。</li> <li>・学期に一度ずつは学校評議員会を開催し、授業の様子を見て意見をいただいていた。</li> </ul> | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりや、学級通信、タブレットのクラスルームを活用して日ごとの学校生活の様子を発信できた。</li> <li>・図書館整備、放課後学習支援等、多方面で地域の方に協力していただき、地域と学校が一体となって、教育活動に取り組むことができた。</li> <li>・幼保小連携では中休みに全校児童と2回、行事として1年生と1回、5年生と1回、計4回交流することができた。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方に、もっと本校の少人数での学びの良さを学校だより等でアピールしていきたい。</li> <li>・幼小中の連携では、管理職や担当以外も交流できる場を工夫して作っていきたい。</li> </ul>  |
|     |               | ② 学校(授業)公開          | 授業参観、運動会等の行事で、学校の取り組みを公開している。                              |   |    |   |   |
|     |               | ③ 家庭・地域との連携         | 図書館整備や放課後学習支援授業など地域コーディネーターと連携し、地域パートナーシップ事業を活用した活動を行っている。 |   |    |   |   |
|     |               | ④ PTAの活性化           | PTA本部役員会を月に1回実施する。総会、美化奉仕作業、資源回収等PTAと連携した活動を行っている。         |   |    |   |   |
|     |               | ⑤ 校種間連携             | 幼保小連携のため、教員、児童、園児が交流する場を設けている。                             |   |    |   |   |
|     |               | ⑥ 学校評議員の活用          | 学期に1度は学校評議員会を開催し、学校評議員の意見を集約している。                          |   |    |   |   |
| VI  | (6)教育環境整備     | ① 教育環境の整備           | 安全な学校生活を保障するため、定期的に安全点検を行う。                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検実施後、業者や市教委に危険箇所の修繕依頼をした。予算要求の依頼箇所も工事をしていただけた。</li> <li>・職員からの購入希望に添って、備品を購入した。</li> <li>・備品点検を行った。整理整頓を呼びかけた。</li> </ul>  | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に安全点検を行った。担当場所を変えていくことで、全職員の視点で危険箇所がないか確認できた。</li> <li>・安全点検の結果を市教委に報告し、迅速に改修できるようにした。</li> <li>・予算の中で必要に応じて備品を購入し、活用しやすく管理した。</li> <li>・思いついたときに必要な備品を書き込む一覧表が作られ、濡れ落ちを防ぐ手立てができた。</li> <li>・教材・教員が整備されていて、学習指導に活用することができた。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員の目で安全点検を行うことで、小さな危険にも気づくことができるため、定期的な点検を継続し、迅速に対応する。</li> <li>・教材・教員の不足等がわかりやすく、また活用しやすくするための、整理整頓を維持していく。</li> </ul>   |
|     |               | ② 教材教具の整備           | 職員の意見を聞き、教材・教具の整備を計画的に行っている。                               |   |    |   |   |
|     |               | ③ 教材教具の管理           | 学習効果を高めるため、教材教具を活用しやすいように整理整頓管理するよう心がける。                   |   |    |   |   |
| VII | (7)情報管理       | ① 公文書の取受・保管         | 宇陀市学校文書分類に則したファイルに、校務分掌担当者が公文書を適切に管理する。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公文書が多岐に渡り、書類名等の変更もあって、文書分類表を見直し、適切な保管について周知した。</li> <li>・期限厳守を心がけるが、業務量増や急な感染予防休暇等もあり完全とは言えない。</li> <li>・個人情報のあるものはシレッダー使用を指示し、保管期限のあるものは適切に管理している。</li> </ul>  | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な文書管理について、共通理解を図ることができた。</li> <li>・公文書を適切に保管し、だれが見ても分かるように管理されていた。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文書内容が多岐にわたってきているため、誰が見ても分かるような管理を今後も心がける。また、データ保管するものも増えていくので、保管について共通理解を図る必要がある。</li> </ul>  |
|     |               | ② 公文書の作成            | 校務分掌担当者は、文書作成の期限を厳守する。                                     |   |    |   |   |
|     |               | ③ 個人情報の管理・保護        | 個人情報の取り扱いには十分注意し、情報漏洩がないよう適切に管理する。                         |   |    |   |   |